



天野進吾が視る。語る。今日のできごと。まつりごと。

## 議員の質が問われる時

テレビ番組「朝ズバ」の無責任な発言はこれまでも折にふれて指摘してまいりましたが、その無責任振りを増長させているのが、国会議員の先生方である。例えば民主党の馬淵議員に至ってはタレント顔負けの出演、しかも行政に対する「みのもんた」の指摘に当然のように色付けまでしている。

今日も朝から国の公益法人の無責任な大盤振る舞いに「正義」の御旗を振り回し、恰も鬼の首を取ったが如く叫んでいる。そして、振り向けられたテレビカメラに向って、「将に然り」と国会議員が一切の弁護することもなく、これを認める。一体、行政の歪みを正す責務は誰にあるのかと疑いたくなる。

ご案内のように、民主党の若手国会議員も多くは「官僚上がり」である。誰よりも行政の機構を知っている彼らが自らの微力さを詫びることなく無責任なタレントに同調する姿勢はまこと醜いと言わざるを得ない。

議員の責務は与野党問わず行政の「過ち、方向、そして提案」を蛮勇を鼓舞して発議するのが仕事である。

間もなく私も政治の世界に入って40年になります。まさに生涯の仕事になりましたがこの間「蠅螂の斧」ではあっても頑固一徹に歩んでまいりました。この度の当初議会の中でも行政の無駄と疑問の対象として(財)静岡県舞台芸術センターを厳しく追及しましたが、実はこれまで誰ひとり

この問題に言及した議員は居りません、それは石川知事の意向とは真つ向相反するからであります。「寄らば大樹の蔭」の哲学が議員の共通した発想であれば、睨まれたり怪我することを恐れるからです。それ故に今日でも屢々直面するところですが、本会議の議員質問が当局の作文の朗読、即ち自分では質問原稿を作らず全て役人に頼む輩が未だ存在しているのであります。国、地方を問わずわが国の民主主義は未だ義務教育の域を脱していないと云えるのであります。

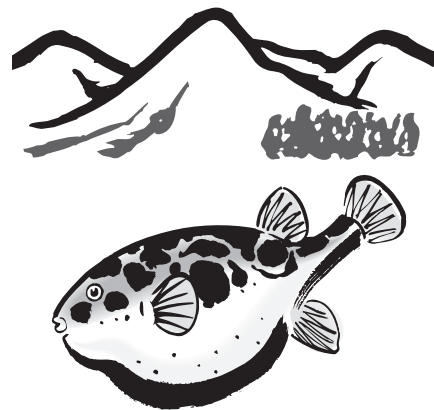
## 山に住む河豚中毒の名医になるなかれ

屢々、諸外国の報道陣から外交交渉において日本の政治家は「NO」が云えない主体性なき民族と揶揄されてまいりました。確かに日本人との議論の最中、独特の感覚と表現に慣れていない外国人には理解できない姿勢と映るかもしれません。しかし、それは古来日本人のもつ独特の優しい気配りであり、表現でもありません。そもそも会議や話し合いの場において断定的な言い回しや誇張する表現方法は基本的に嫌います。

勿論、全てが善意で肯定できるものばかりではありません、特に最近の若者たちの会話の中で、結果として「いい子」になる術として他人の意見を存分に斟酌した後、初めて自身の意見とする老獪な手法を駆使する連中が増えています。

「山に住むふぐ中毒の名医になるなかれ」、聞いたこともない格言と思いでしょ。実は題名は覚えていませんが、古典落

語を聴きながら私が勝手に作った言葉です。江戸時代、ふぐ中毒で亡くなった方は少なくありませんでした。



海岸端で漁師が釣ったふぐをその場で料理する事は屢々あったでしょう。当然のこと中毒を引き起こすことも稀ではありませんでした。仲間は戸板に患者を乗せ一目散に医者のところへ運ぶ訳ですが、この時、街中の医者より山手に住む医者の方が皆に名医として信用されていました。

何故ならふぐ中毒の特徴は一定の時間を経過すれば即ち生きて峠を越えれば自然に快方に向うからです。それ故、辿り着くまでに時間がかかる山手にいれば、もたえ苦しみながら到着した中毒患者の生死は既に歴然、医者がどのような処置しても生還できるのであたらかも名医のように見えるのです。

「いい子」になる秘訣はいかに自分を都合のいい場所に置くかの判断でしょうが、若いうちから狡賢いのは最も戴けない姿勢であります。

文責 天野進吾

# 日本人で最初に 空を飛んだ男 浮田幸吉

大工町に浄土真宗の福泉寺がある。武田の武將穴山梅雪に深い因縁をもつお寺ですが、ここでは触れずにおきます。

狭隘な墓地の一角に、二段式に作られた墓石、上部は明治初年に作られたものか、刻まれた文字も風雨に洗われ見難くなった伊豆石、その墓標を受けるように少し大きめの下部はまだ黒光りする御影石、上下の墓石は明らかに作つた年代の違いが判る。黒ずみつた上部の墓石の正面には遠慮がちに「備考齋」行年68歳とだけ書かれ、更にその側面には、明治二年備考齋妻、俗名寿美行年84歳と記されている。

備考齋こと「浮田幸吉」は残念ながら静岡市民には殆ど馴染みのない名前であるが、敢えて本日皆様に啓蒙したく、ご登壇願つた次第です。

飛行機の発明に挑戦した日本人の第一号が浮田幸吉です。  
天明五年(1785年)表具師を営む幸吉青年は25歳の時、玉野市にある蓮昌寺で、本堂に群がる鳩にヒントを得て、滑空を思い立ち、表具師らしく紙張りの模型を作り、これを背中に背負つて勇躍橋の欄干から飛び降り、見事失敗、右足の骨折というオマケまでついた。しかし「泣き面に蜂」の譬えの如く、幸吉は土地の役人に「奇をもてあそび、人を驚かした」という理由で捕われ、生まれ故郷の備前岡山を追放され、駿府に移り住むことになった。駿府に転居した理由も奮つている、親戚の手立てで海運に転職した

幸吉が全国の港を巡るうち、駿河湾から見た富士山の美しさと「三保の松原」の天女の伝説に飛行を夢見る自身が重なり、親戚縁者の反対を押し切り、駿府での永住を決意したのであった。

第二の人生は江川町の一角に備前の特産品を商う「櫻屋」を開業、これが当たつて商売繁盛、隆盛のうちに事業を養子に任せた幸吉は、生来の器用さをもって何と櫛や柘植から入れ歯を作り、歯科医「備考齋」として脚光を浴びるところとなった。

しかし、1810年50歳を迎えた幸吉は、

## 一寸一言 私の雑記帳から

先日、給食業を営む友人の会社で置かれていた営業パンフを見ながら、私は生意気にも松花堂弁当を指差しながら「松花堂の由来」をひとくさり、雑学の披露に及びました。

そこで今日は食物の「由来」について記します。あなたも仲間と食事しながら、独り呟くのもカッコイイかも。

松花堂弁当とは寛永三筆の一人・松花堂昭乗に由来、彼が十字に仕切つた弁当を用いたところから名づけられた。

幕の内弁当は芝居の幕間にたべる弁当、胡麻をかけた小さなお握りに沢庵などがついている。

助六弁当、お稲荷さんと大巻きが一緒に入っている弁当、先ず「助六」とは歌舞伎十八番のひとつ「助六所縁(ゆかり)

なお大空に羽ばたく夢は捨てきれず、再び天空への飛行に挑戦、そして長い錯誤と研究の末、今日のグライダーと同じ機能を持つ飛行機を製作、安倍川の河川敷において試験飛行を挙行、真夜中、多くの川越人足の協力で幸吉の乗る飛行機は見事に上昇したのであります。飛行時間はわずか数十秒、その距離、200メートルと言われているが将に大成功の裡に実験は終了したのであった。しかし、喜びの中に迎えたその朝、番所からの役人にしよつびかれた幸吉は再び、駿府処払いを言い渡され磐田見付に転居したのである。

今、その際作られた設計図をもとに二分の一の模型が磐田市見付にある大見寺の本堂に吊るされている。是非、この数奇の人生を歩んだ男をあなたの記憶の片隅にも刻んでおいてください。

の江戸桜」の主人公が助六、その恋人の名が「揚巻」です。先ず「揚」から「油揚げ」を連想しそこから「いなり寿司」が誕生、「巻」の言葉から「太巻き」を連想、この二つの食品が一緒になった弁当を「助六」と洒落た。

懐石とは茶懐石(茶の湯で茶を出す前の簡単な食事)のことだが、一般的には温めた石で空腹を忘れさせる程度の粗末な食事を言う。

きしめんとは紀州の麺の略称です。名古屋駅の地下道に由来が書かれておりました。  
けんちん汁は鎌倉の建長寺の創作、建長寺が短縮されて「けんちん」となった。異説もあります。

鴨南蛮、司馬遼太郎のエッセイのなかに、面白い記述がありました。

「明治の終わりごろまで、難波の土橋から南は茫々のねぎ畑、だからねぎの隠語をナンパンという。鴨ナンというのは鳥肉とねぎの入ったかけうどんのことである。」

## 彩時記 4月の嘘

4月1日はエイプリル・フールです。そのルーツは、キリストがユダに裏切られたのを忘れないように設けられたという説や、1日だけ主人と使用人が入れ替わる、古代ローマのお祭りに起因するという説など様々です。

フランスでは、エイプリル・フールを「4月の魚」といいます。4月生まれは魚座ではないことから、「4月の魚=嘘」という意味、また4月になって暖かくなると、魚が簡単に釣れることに由来している、ともいわれています。

エイプリル・フールが日本に紹介されたのは江戸時代。当時は「不条理の日」といい、普段のつきあいや義理を欠いている失礼をわびる日とされていました。「嘘をつく」とは正反対の、「誠意を表わす」日だったわけですね。

欧米では、この日にマスコミが悪意のない嘘のニュースを流して話題になることがよくあります。「嘘をつく」というよりは、4月のぼかぼか陽気に誘われて「悪意のない大ぼらを吹く」のが、エイプリル・フールなのでしょう。今年のエイプリル・フール、あなたは、誰にどんな嘘をついてみますか?

